

平成30年 第3回定例会

9月5日～9月12日（8日間の会期）

9月5日から12日までの8日間の会期で開催され、報告2件、専決処分2件、平成29年度決算認定8件、条例1件、補正予算5件、その他2件の議案が提出され原案のとおり承認・認定・可決されました。

また、陳情については、継続審査となりました。



決算委員会を進行する 木村 信一 委員長

決算特別委員会報告

開会初日（9月5日）本会議に提案された平成29年度境町一般会計及び特別会計並びに水道事業会計の決算認定については、委員10名による決算特別委員会を設置し、同委員会に付託されました。

委員会は、9月10日・11日に開催され、慎重に審査をした結果いづれの会計とも認定すべきものと決定し、9月12日の本会議において委員長報告のとおり全会一致をもって認定されました。

監査委員決算審査報告

5月25日（金）・8月28日（火）に、平成29年度境町一般会計及び特別会計6件並びに水道事業会計についての審査を行い、その結果次のとおり報告がありました。

境町監査委員 山本隆行
境町監査委員 斉藤政雄

一般会計

○厳しい財政状況の中、魅力あふれる町づくりのための事業を展開して行財政運営に務められたことが確認できる。歳入財源は、町税収入・国庫支出金・ふるさとづくり寄付金及び茨城さかいソーラー売電収入による寄付金が増となり施策・事業を効果的に実施した結果であることが認められる。歳出については、経費節減や効果的な事業への取り組み等が伺え、順調に執行されたものと確認できるが、各種団体等への補助金については十分に精査して財源の有効活用を務めていただきたい。

特別会計

○独立採算制の原則に則って財源確保のための徴収率向上に務められた。国民健康保険の広域化や介護の新規事業等に伴い今後の事業内容等も様々な課題が生じてくる可能性が考えられる。下水道事業や農業集落排水事業についても、処理場等の老朽化に伴い整備件数の増加が予想される。

水道事業

○水道料金の収納確保や有収率の向上及び経費の節減等に務め、老朽施設・設備の適切な維持管理と大震災の教訓から、耐震整備を計画的に進め、安心して利用できる水道水の安定供給を図れるよう要望する。

今後の行財政運営に当たっては、施策内容等を十分に精査し、より効果的かつ効率的な実施に務め、多様化している住民ニーズや社会情勢に対応できる事業等を計画的に実施していくよう望むものである。